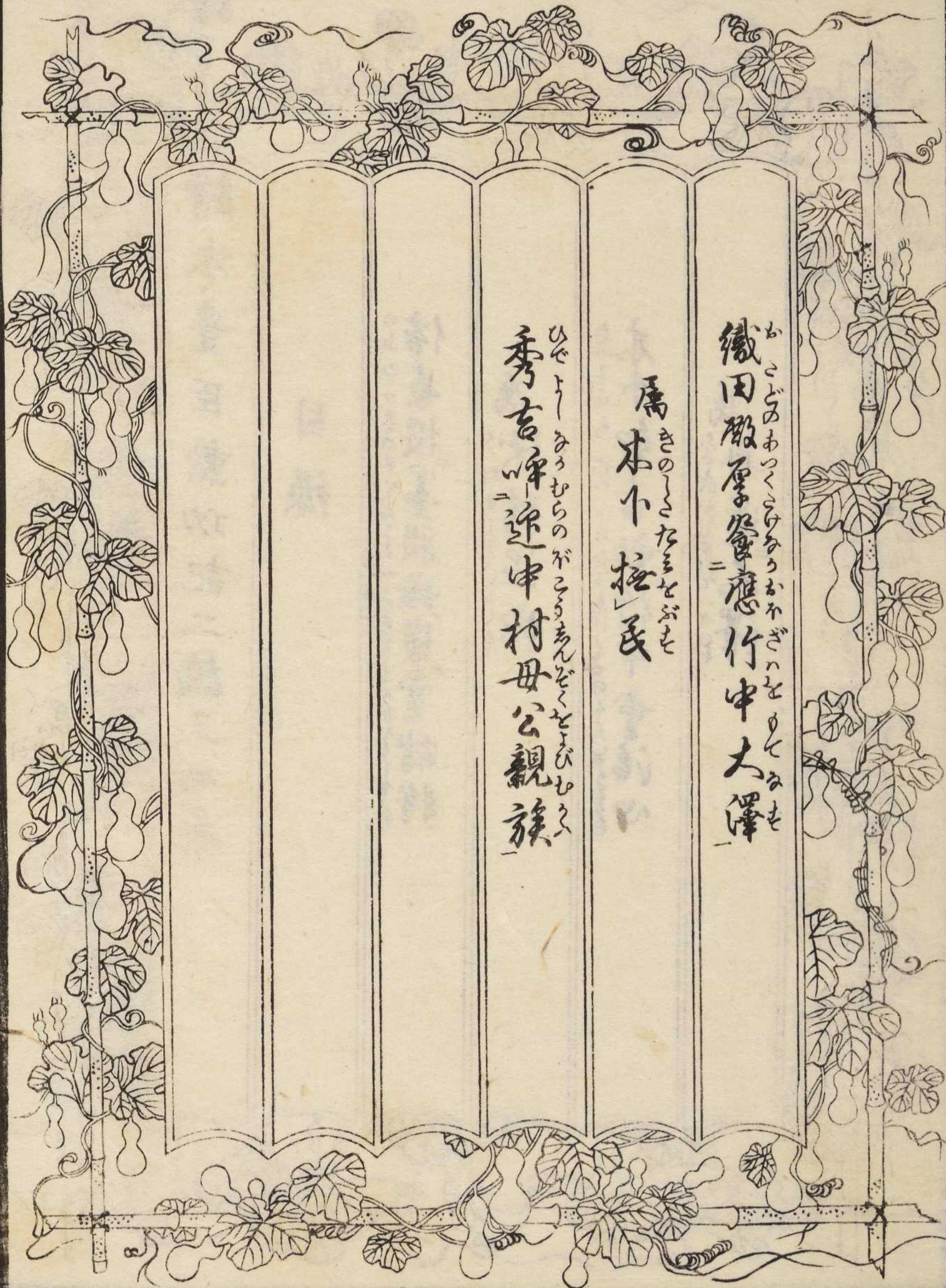


織田殿厚賞應行中大澤

馬本下松氏

秀吉呼迎中村母公親族



繪本豊臣勲功記二編卷之二

江戸 八功舎 徳水刪補

信長授別股城獲賞諸將一属仕給汝城

復道の空小横とてさるる未雲成さる小何の籠と長橋は波小川さるる
を致さるにさるの虹とと願の美宗皇の阿房と賦と驕奢あらねと現當這
小洲股城の結構い絶あらざん斬るる空小横と長城の優々とて
一夜小現せん虹あらざん腕子の隙小涼とと成づんと濃列武者
の見ん輩同輩肝と落し魂を消し人間石作のよもあらじと怖懼のよ
して今い勿と致る我も折ひかへせんと日々夜々空一々評議と過けり
然バ木下秀吉は日量七日小結構成就さるつとも寨樓土墙をんどの白く能
くと見へるる一時の預智を用ひらるる且ハ歌と歌んとめ壁ある如小の都

豊日言一編